

社会の変化と求められる能力

かつては..

欧米諸国への
キャッチアップ

- ✓ 既存の仕組みの
理解、模倣
- ✓ 知識の吸収・蓄積
- ✓ 既存のものの活用と改善

これからは..

イノベーション
による成長

- ✓ 自ら考え、
課題を発見・抽出
- ✓ 知識の活用、組合せ
- ✓ 新しい価値の創出と
実行力

イノベーションの実現を担う人材の育成

これからの社会で求められる能力

新卒採用時、ビジネスの基本能力として重視する力

社会人基礎力

<大学学部/修士卒> <大学院博士修了>

1 位

熱意・意欲
(70.3%)

熱意・意欲
(60.1%)

2 位

行動力・実行力
(50.5%)

行動力・実行力
(58.8%)

3 位

チームワーク力
(54.2%)

チームワーク力
(48.6%)

4 位

**誠実さ、明るさ、
素直さ等の性格**
(34.7%)

論理的思考力
(27.7%)

5 位

課題発見・解決力
(27.5%)

**誠実さ、明るさ、
素直さ等の性格**
(27.7%)

前に踏み出す力

チームで働く力

考え抜く力

**企業経営者の
問題意識とも共通**

出典：経済同友会実施の調査結果（2012年9-10月実施）を基に
作成（報告書は2012年11月公表）
調査対象818社／回答255社（新卒社員採用数合計2万4500人）

企業が採用の際に重視する事項

	大学学部/大学院修士 (回答:225社)			大学院博士 (回答:148社)		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
面接	217	6	0	136	8	0
学校での専攻分野 /研究内容	4	56	46	6	48	27
筆記試験	0	53	31	0	25	24
学校での成績	0	2	28	0	1	18
出身校	0	4	10	0	2	7

注：直近1年間に新卒者の採用活動を行った企業が回答

出典：経済同友会実施の調査結果（2012年9-10月実施）を基に作成（報告書は2012年11月公表）

調査対象818社／回答255社（新卒社員採用数合計2万4500人）

社会が求める人材と教育界が育てる人材のミスマッチ

■ 高校教育（大学を受験する生徒の場合）

- 大学受験のための教育
- 正解のある問題に答える
- 試験の点数の高い生徒が合格

■ 大学教育

- 小学生よりも学習時間の短い大学生
 - ・大学生 3.5時間/日
 - ・高校3年生 6時間超/日
 - ・小学6年生 5.2時間/日（東洋経済ONLINE、辻太一朗）
- 長い就職活動

■ 企業活動

- 人物重視の採用（大学名は重視されない）
- 仕事では課題を自ら見つけ出す（正解の分からない課題に挑戦）

これからの社会で求められる人材像

■基礎的な知識・技能を持った人

基礎学力、専門知識／能力、語学力(英語)、説得力、ITスキル、コミュニケーション能力(異文化含む)

■課題を発見し、考え、行動する人

熱意、意欲、論理的思考力、判断力、創造性、自律的に行動する力、リーダーシップ

■豊かな人間性、高い倫理観を持った人

豊かな教養、倫理、哲学、歴史、文化、国際情勢、社会規範、公共性、輝く個性／アイデンティティ

今後の教育改革に向けて

教育をより良くするために

生徒が直面している問題

◆受験重視の偏差値教育の弊害

大学入試が目的化

知識の幅が限られる

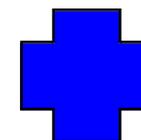
◆単一的な成功モデルの行き詰まり

有名大学 → 大企業

終身雇用制度下での安定した生活

これからの教育改革のあるべき姿

それぞれの「現場」が、
生徒を育てるため
創意工夫に取り組む
ことが必要



大学入試改革
大学のガバナンス改革

(1) 大学入試改革の必要性

選抜性の高い大学の入学試験が高校教育を歪める

- 大学入試改革は選抜性の高い大学の問題
 - 私立学校の半数近くが定員割れ(選抜されない)
- 進学校(高校)では、大学入試で出る分野の教育に集中(受験勉強)
 - 高校での幅広い教育が困難(学ぶ意欲の低下)
 - 私立大学の入試は7割が、3科目(48%)か2科目(23%)
- 試験科目の合計点数で入学が決まる
 - 特技を持った学生が育ちにくい
 - 1回の試験で合否が決まり、高校生活の成果が反映できない
 - 企業が採用する際に重視する熱意、行動力、コミュニケーション能力を調べるのが難しい
- 英語の会話能力を調べるのが難しい
 - 読み書き中心の英語教育になる

(2) 大学入試改革の方向性

- 丁寧な選考(AO(アドミッション・オフィス)入試)・・・コストがかかる
 - 共通試験による学力保証
(資格試験化(ある点数以上であれば良いとする))
 - 英語については、TOEFL、IELTS等による資格試験化
 - 高校の成績
 - 高校生活の特記事項
(何か特別な活動をしたのか。得意分野など)
 - 推薦状 (できれば3通)
 - 小論文 (志望理由等)
 - 面接 (必要に応じて)
- 米国の有力大学では、個別大学での入試は行っていない。
 - AO入試で学生を選抜

大学入試改革に関するまとめ

- 大学入試で求められる人材像と企業が求められる人材像が大きく乖離、入試改革が必要
 - 大学入試では試験の点数で選抜
 - 企業の採用では、熱意、行動力、コミュニケーション力
- 入試改革を実現するためには大学のガバナンス改革が必要
 - 学長が入試改革の方針を出しても教授会で反対されることがある
- 入学者選考専門家の養成(AO入試担当)
- 入試改革を推進するため、運営費交付金、私学助成金等、インセンティブの付加
- 「公平感」に対する懸念に対しては、よく説明すれば理解される
 - 試験科目の点数で選抜することの問題
 - アメリカの有力大学では入試は行われていない

初等・中等教育への期待

■自ら学び、考え、行動する力の育成

- 長所を認めて、誉めて育てる
(自己肯定感を高める教育)

■基礎学力の育成

- 語学力(英会話能力)も必要

■豊かな人間性、高い倫理観を持った生徒の育成

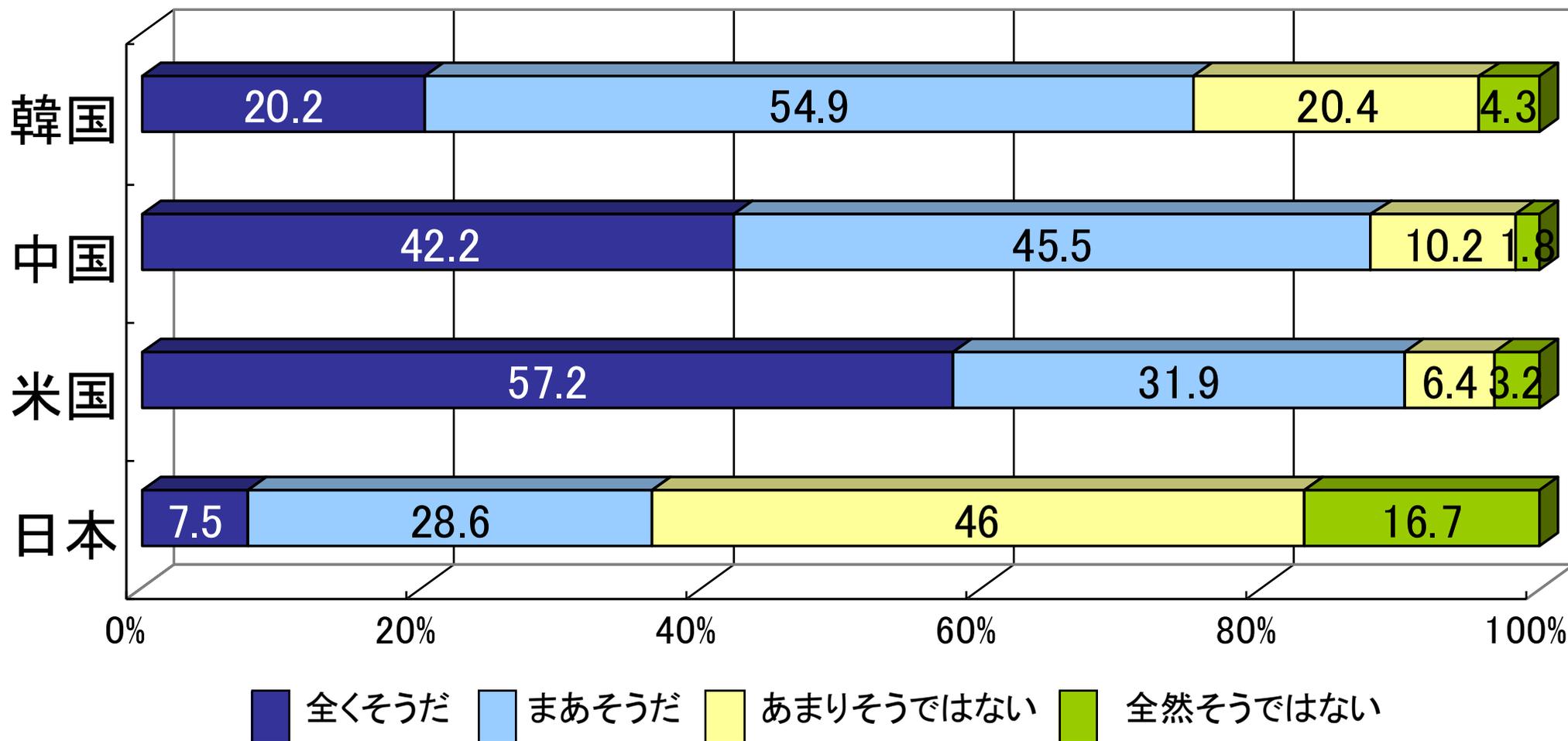
- 歴史、文化、社会規範、倫理、公共性、コミュニケーション能力

■働くことの意義を教える

- 自分の能力を生かして社会に貢献する
- キャリア教育(保護者、地域社会の活用)

日本の高校生、米中韓と比べ自己肯定感が低い傾向

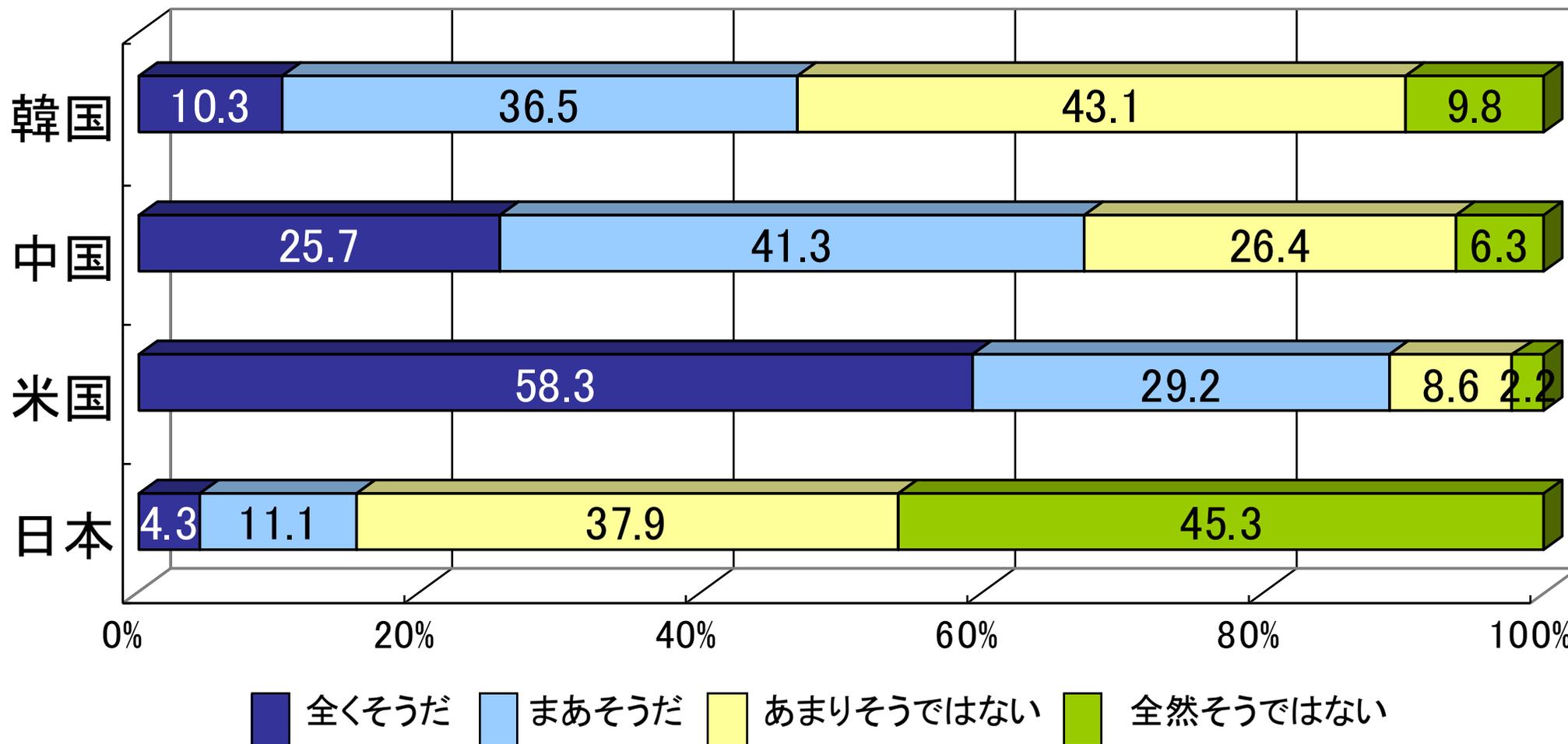
私は価値のある人間だと思う



出典:「高校生の心と体の健康に関する調査」(2011年3月)
 財団法人 一ツ橋文芸教育振興協会、財団法人 日本青少年研究所

日本の高校生、米中韓と比べ自己肯定感が低い傾向

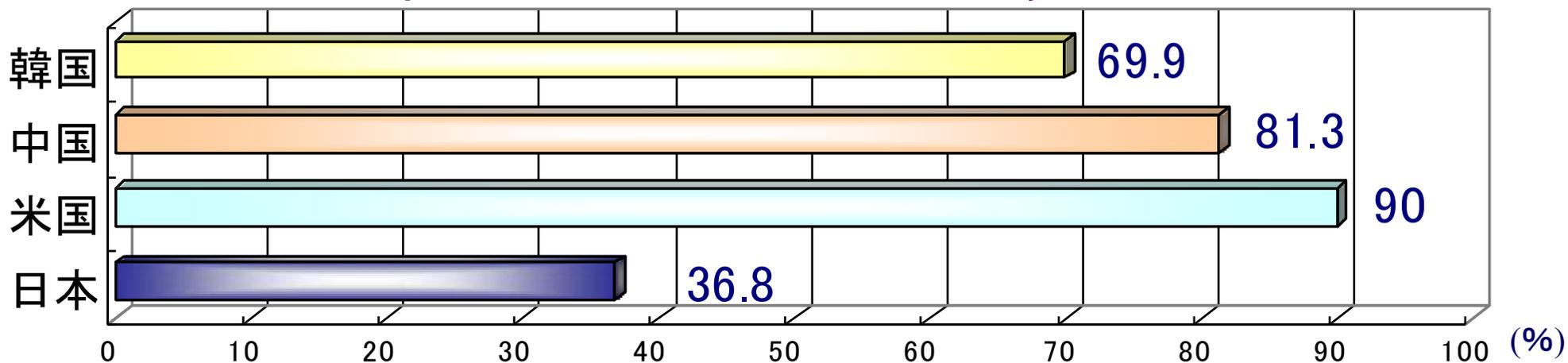
自分が優秀だと思う



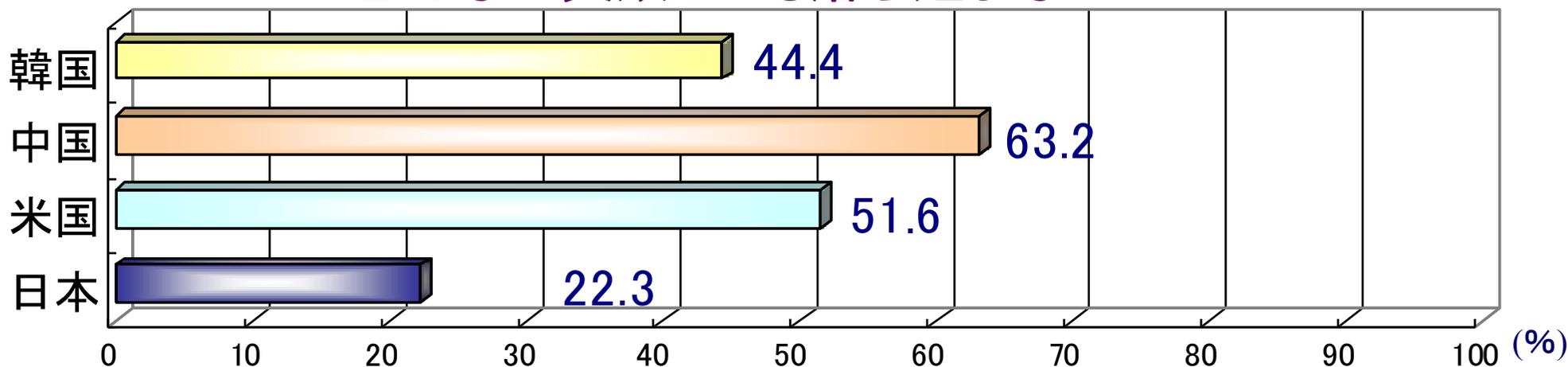
出典:「高校生の心と体の健康に関する調査」(2011年3月)
 財団法人 一ツ橋文芸教育振興協会、財団法人 日本青少年研究所

日本の高校生、米中韓と比べ自己肯定感が低い傾向

あなたは自分自身をどう思うか（「全くそうだ」+「まあそうだ」）
私ができることはいっぱいある



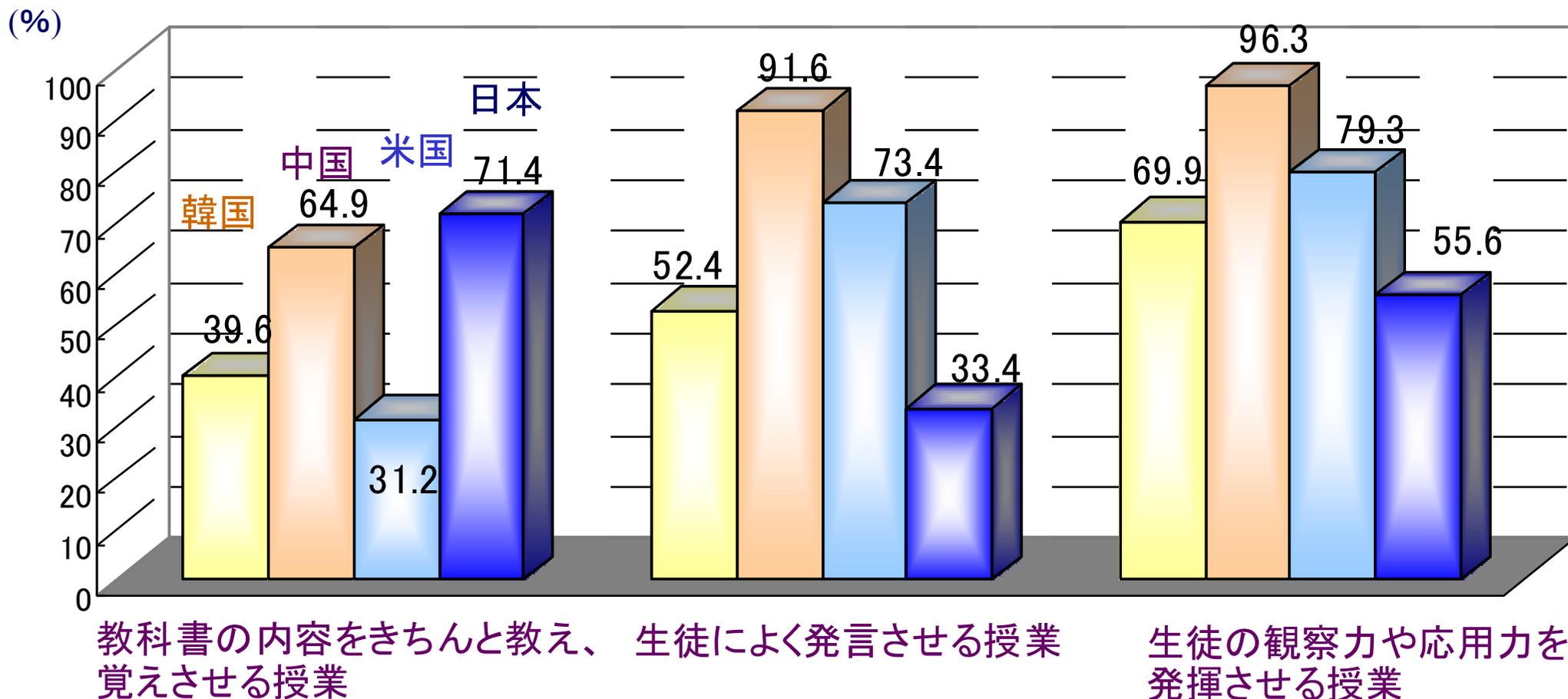
どんなに失敗しても落ち込まない



出典:「高校生の心と体の健康に関する調査」(2011年3月)
 財団法人 一ツ橋文芸教育振興協会、財団法人 日本青少年研究所

日本の高校生、米中韓と比べ自己肯定感が低い傾向

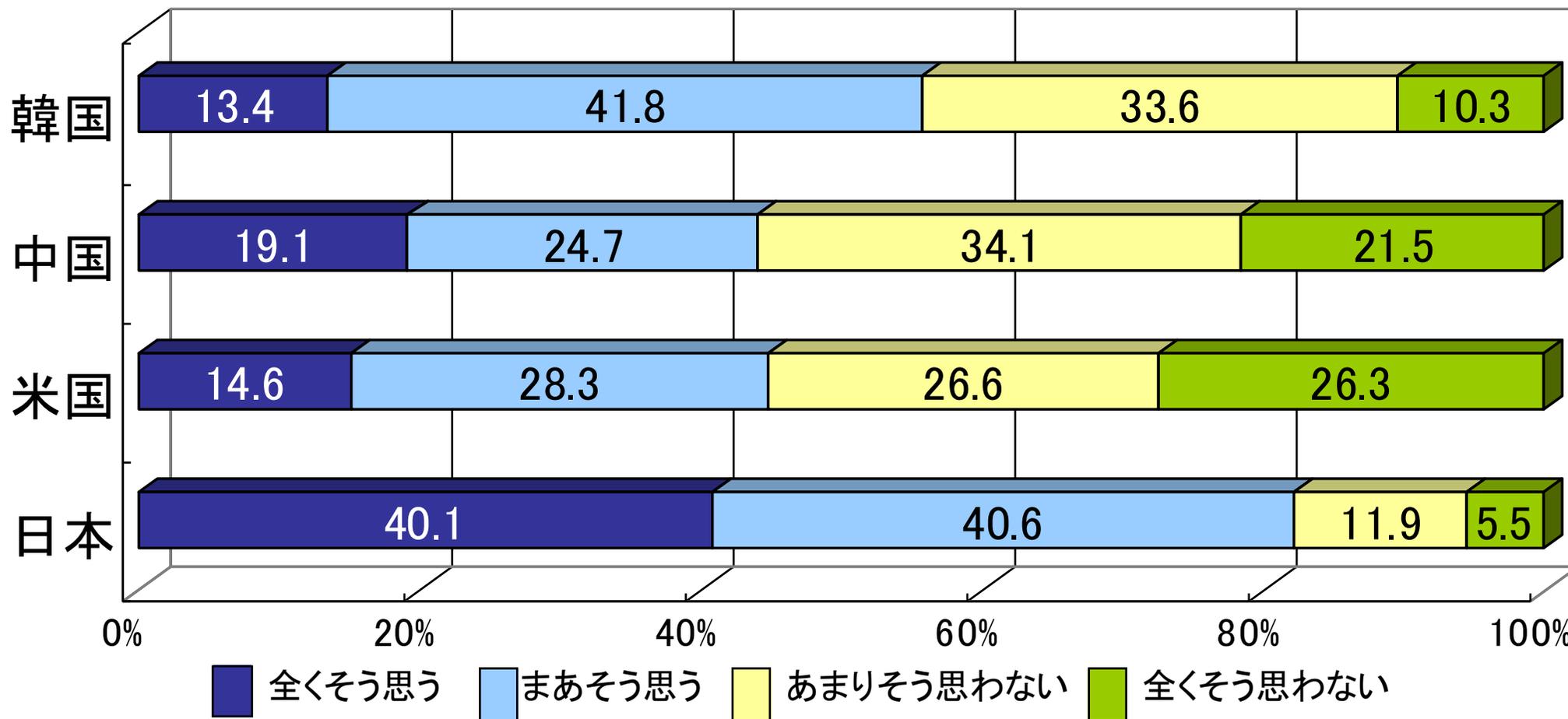
どのような授業が好きですか（「好き」+「どちらかと言えば好き」）



出典:「高校生の心と体の健康に関する調査」(2011年3月)
財団法人 一ツ橋文芸教育振興協会、財団法人 日本青少年研究所

日本の高校生、米中韓と比べ自己肯定感が低い傾向

あなたは自分自身をどう思うか
(私個人の方では政府の決定に影響を与えられない)



出典:「高校生の心と体の健康に関する調査」(2011年3月)
財団法人 一ツ橋文芸教育振興協会、財団法人 日本青少年研究所

TOEFL-iBTの各国スコア

ランク	国名	スコア
1	オランダ	101
2	デンマーク	100
3	ルクセンブルグ	99
4	シンガポール	99
5	オーストラリア	97
6	南アフリカ	97
7	ベルギー	97
8	フィンランド	97
9	スイス	97
10	ドイツ	96
72	韓国	87
102	中国	76
139	日本	67

調査対象: 160ヶ国

出所: TOEFL-iBT (Test of English as a Foreign Language - internet based test) 2009

学校と地域・社会の連携

それぞれの段階に応じた連携と、実績・効果の評価を

<小学校>



【社会見学・体験】

～ 社会への関心を養う～



<大学>



【インターンシップ・アルバイト】

～ 社会で働く体験～

<中学・高校>

【多様な大人の参画・社会体験】

～ 職業観の醸成～



教育現場に経営者の声を届ける

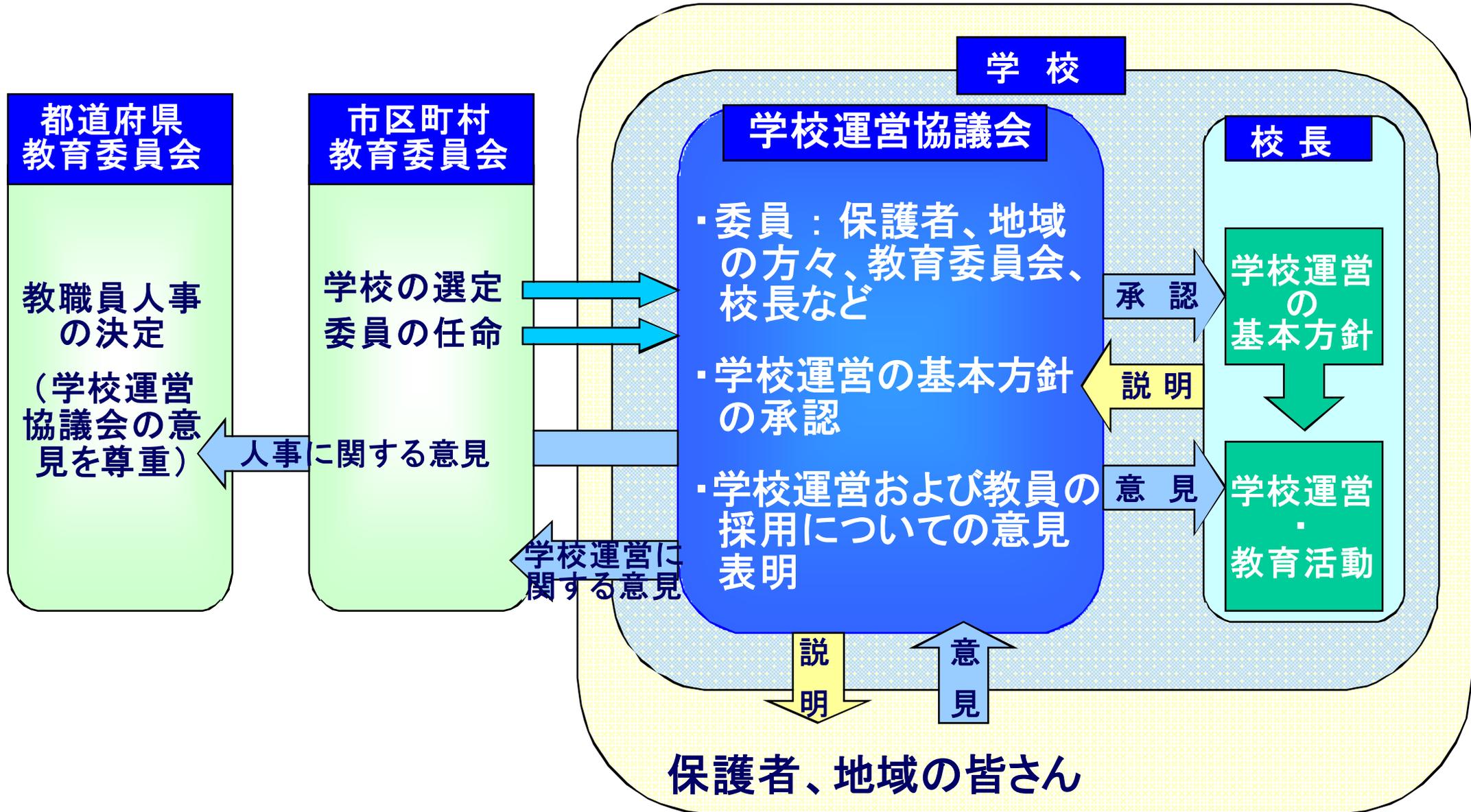
経済同友会：学校と企業・経営者の交流活動（2001年～）

- 企業や社会の現実を、生徒、先生、保護者に直接伝える。
- 働く意味や楽しさを子供たちに教え、将来への夢を抱かせる。



企業経営者が
出張授業や教師やPTAとの懇談など
学校との交流活動を行っています。

保護者・地域の人々が参加するコミュニティ・スクール



自由闊達

あ (A) : 明るく

た (Ta) : 楽しく

ま (Ma) : 前向きに

まとめ

自ら学び、考え、行動する力

イノベーションの実現を担う人材

コミュニティ・スクールによる
多様な大人の教育への参画